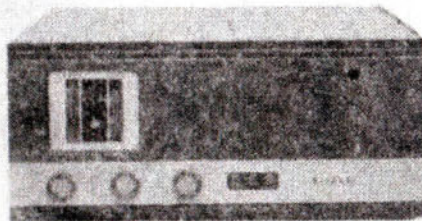


# 国内新製品紹介

## 日立のハイファイ・アンプ “A-1100”

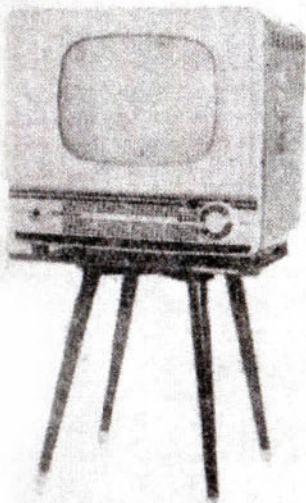
本機は同社のグラッドホニックス・シリーズの一つで、最も手軽にステレオを楽しむためのステレオ用追加アンプである。回路構成はプリアンプ、メインアンプおよび電源部とからなっており、出力は無歪で8W、最大10Wである。またラジオ・チューナー、テープレコーダー、マイク、TV音声などをHi-Fiで再生するための予備端子もついている。外観は同シリーズのAM-FMラジオつきアンプAF-1100と同様の木製キャビネットに入っている。セット前面には低音、高音、音量の三つのつまみがついていて、電源スイッチ、電幕、予備入力回路の各切換えはパイロットつきの押ボタン操作で行われる。また低音、高音の音質は縦行ダイヤル式のトーン・インジケータにより見やすいようにしてある。現金正価は ¥15,000。



(東京都千代田区丸の内 新丸ビル内)  
日立製作所 K. K.

## 東芝の14型受像機“14ES”

高感度・超遠距離用を誇る14型のテーブルタイプである。チューナー部にHHIシリーズの球、IF部に新種の高感度管6DK6を使っている。使用真空管は6R-HH2、6MHH3、6DK6×3、6AW8-A、6CG7×2、12BH7-A、6AU6、6BN8、6AR5、6BB6、1X2B、6AX4-GT、5GK18、1N60という具合に16球+1ゲルダイである。AFCはバル



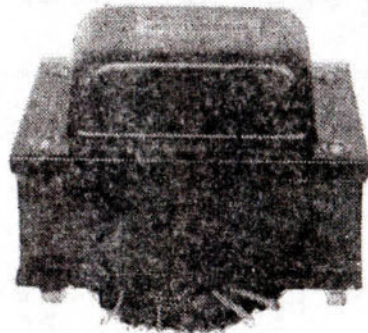
ス幅、AGCは特殊複合平均値型を使っている。スピーカーは25×10cmの楕円型で、音声の無歪出力は1.5W、消費電力は180Wとなっている。音質も3段に切換えることができ、電源はタッチコントロール方式でそのつまみ

はボリュームも兼ねているので、一定の音量の位置を保ったまま電源のON-OFFができるため、いちいち調節する手間はいらない。外形寸法は幅485×高さ445×奥行350(mm)で、重量は25.5kgである。正価は ¥63,000  
(東京都港区南池)

東芝商事 K. K.

## SELのステレオ用 パワー・トランス

菅野電機からステレオ用パワートランス“W-44型”(6BQ5用)と“W-69型”(6BM8用)の2種を発売した。本製品は従来のものに比べて小型化され、温度上昇も同容量のものより低く、電圧変動率も改善されている。特徴としては初段管用のヒーター・タップとして5V-0.3Aをつけてある。



(東京都品川区大井森下町1441)  
菅野電機研究所 K. K.

## TECHのVTVM“PV-58型”

真空管電圧抵抗計であるが、ブリッジ回路を使用して安定性を高め、精度の高い優秀な部品を選んだという。測定範囲も広く、メーターも読みやすい。主な規格を列記すると、

DC電圧 0-1.5-5-15-50-150-500-1500V  
(30,000V以上はHJプローブを使用)  
AC電圧 0-1.5-5-15-50-150-500-1500V  
(0-1.4-4-14-40-140-400-1400-4000V P-P)  
抵抗 R×100-1K-10K-1M-10M(2Ω-1000MΩ)

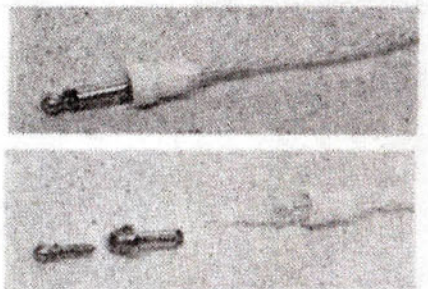
ゲイン -10dB~+65dB  
真空管 12AU7, 6AL5  
電源 AC 80~120, 90~130, 200~240V

寸法 18×11×10cm (H×W×D)  
重量 1.7kg  
(東京都目黒区碑文谷1~15)

筑波電器製作所 K. K.

## アツデンのスクリー・プラグ

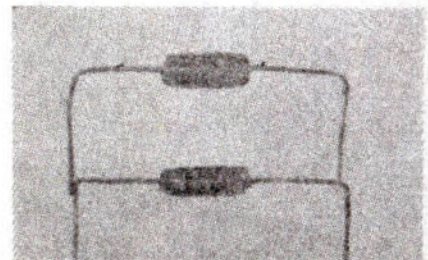
スクリー・プラグの名に示すように、ネジのもつ優れた機械的性能を100%利用して、ハンダづけの必要もなく、きわめて簡単に堅牢な構造になっている。すなわちリードの裸線部をメス・オスのネジ部の間隙に差込んでしめればリード線はプラグの十一の位置に圧着される。同時にリード線はネジ相互の間隙をうめてスプリング・ワッシャーの役目を果たしている。また十一の位置を両端の別々のケースに分離して接続してあるのでショートする心配もない。



(東京都三鷹市上連雀町801)  
日本圧電気 K. K.

## エルナのフィルキャップ・コンデンサー

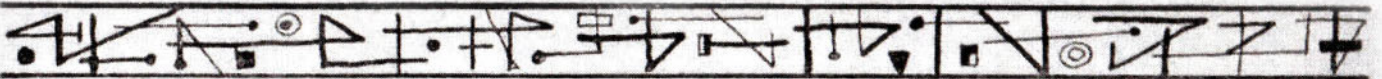
フィルキャップというのはポリカーボネート・フィルムを誘電体としたコンデンサーで、従来のペーパー・コンデンサーとは比較にならないほど優秀で高信頼度がある。その特長は(1)使用温度範囲が広い。(2)高絶縁抵抗である。(3)静電容量の温度による変化が極めて少ない。(4)低損失。(5)耐湿性が良好などである。



(東京都台東区長春町1の3)  
三光社製作所 K. K.

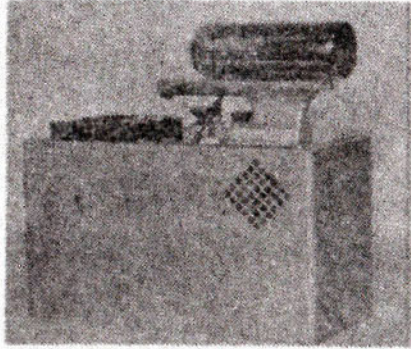
## ルックスの放射能測定器

ルックス特殊管の吉田通信機の発売した放射



能測定器である。

オール・トランジスター式であるから単一乾電池 3 本で約 300 時間の連続使用ができる。放射能 30, 300, 30,000 カウントまで測定が可能である。値段は ¥ 45,000。

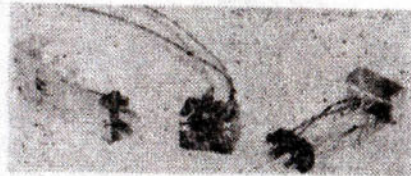


(東京都品川区南品川 6-1495)

吉田通信機製作所 K. K.

### グレースのステレオ/モノ 40cm トーン・アーム "G-180S"

長さ 40 cm (16 インチ強) のステレオ・モノラル両用でワンポイント・サポート機構とシリコン・オイルの粘性を融合させたオイル・ダンプ方式のアームである。カートリッジの取付はユニバーサル・タイプのスライド・アダプターで JIS, EIA による内外のカートリッジを使用することができ、理想的な 4 端子型でアームのアースを含めて 5 本の引出線をもっている。アームの最大長は 365mm, 有効長は 283 mm で、針先高さは 40~80 mm に調節できる。またスライド・アダプターの裏に従ってウエイト板と共にとりつければどのカートリッジを使っても予定の針圧にすることができる。正価は ¥ 7,200。



(東京都品川区大井元芝町 870)

品川無線 K. K.

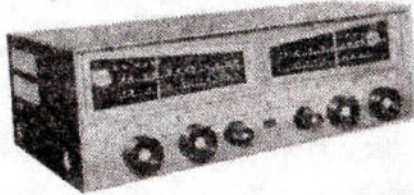
### パイオニアの新製品 5 種

#### ●FM-AM ステレオ・チューナー "AFT-11"

それぞれ独立した短波を含む AM チューナーとテレビの音声もきける FM チューナーとを一つのケースに組み込んだ電源自給のステレオ・チューナーで、手持ちのステレオ・アンプと組合わせて AM-FM のステレオ, AM モノ, FM モノの各放送が受信できる。チューナーを

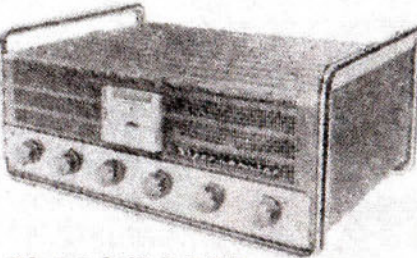
もう 1 台追加すれば AM-AM, FM-FM のステレオもきくことができる。また将来はじまる FM 多重立体もチューナー後面の出力端子にアダプターを取付けることによって聞くことができる。

使用真空管は 11 球+3 グルダイで、FM 部はフォスターシーレー検波, AFC つきで受信周波数は 80~180 Mc (最大感度 13 dB/90 Mc) である。外形寸法は幅 384 × 高さ 135 × 奥行 240 (mm) で重量は 6.2kg。正価は ¥ 20,700。



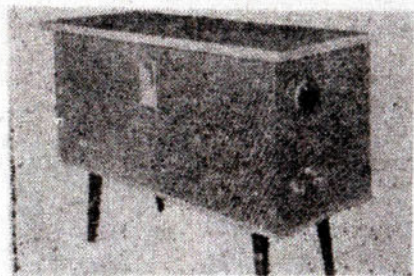
#### ●ステレオマスター "SM-C800"

最大出力 45W, 無歪 40W のメイン・アンプ 2 台と、多用途プリアンプ 2 台が一つのシャシーにまとめられた、プロフェッショナル・ステレオ・アンプである。片側のラインアップは 12AX7-12AX7-12AX7-6CA7×2-6AR4 で、これが 2 組入っているから、モノとすれば 90W の音まで出すことができるし、2 つのプログラム・ソースをミキシングすることができる。特殊なバランス・メーターにより左右のバランスを見、モノのときは VU 計として働らく。周波数特性は 20~20,000c/s ±1dB, クロストークター 65dB (1000 c/s) 入力端子は TAPE, MAG, XTAL, TUNER, AUX, MIC で、イコライザーは NF 型である。出力端子は 8, 16, 32 Ω, 消費電力 130VA×2。外形寸法は幅 480 × 高さ 220 × 奥行 350 (mm) で、重量は 27kg。



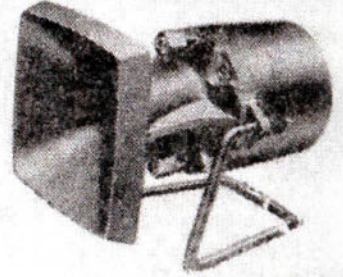
#### ●2 ウエイ SP システム

低音用に 20cm ウーファ "PW-20A", 高音用にホーン型トワイター "PT-3" を組合わせてオクターブ 12dB 減衰のネットワークにより優れた総合特性を得ている。インピーダンスは 16Ω, 再生周波数 50~16000 c/s, 最大許容入力 8W, 出力音圧レベル 103dB である。キャビの外形寸法は高さ 600 × 幅 800 × 奥行 330 (mm) で容積は 78,000cm<sup>3</sup> となっている。重量は 20kg。



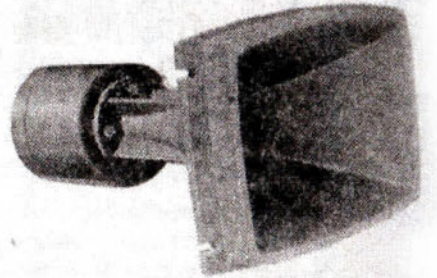
#### ●プロフェッショナル・ホーン・トワイター "PT-4"

VC インピーダンス 16Ω, カットオフ周波数 1,500c/s, 再生周波数帯域 1500~16000c/s, 最大許容入力 20W, 出力音圧レベル 105 dB/W, クロスオーバー 3,000c/s 以上, 総磁束 22,500 マックスウエル, 磁束密度 14,400 ガウス, 重量 694gr である。



#### ●プロフェッショナル・ホーン・トワイター "PT-5"

VC インピーダンス 16Ω, 再生周波数帯域 600~16,000 c/s, 最大許容入力 35W, カットオフ周波数 600c/s, クロスオーバー 1,200 c/s 以上, 総磁束 73,000 マックスウエル, 空磁束密度 13,500 ガウス, 外径寸法 188 × 148mm, 奥行寸法 421 mm, 重量 5.4kg である。これは第 7 回オーディオ・フェアに直径 4 メートルの巨大な低音ホーンと組合わせて発表されたものである。

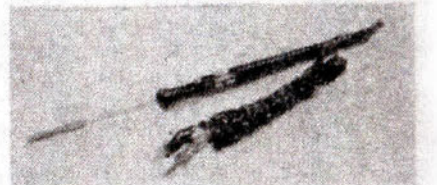


(東京都文京区音羽町 6 の 5)

福音電機 K. K.

#### 八光の半田ゴテ "アンド" A 型

超小型になっていて、トランジスター・ラジオやテレビのような細い場所のハンダづけに好適である。種類は 3 種あり、6V 15W 型が ¥ 600, 12V 15W 型が ¥ 630, 24V (直流用) 15W が ¥ 650 である。コテ先には標準型, I 型, II 型, III 型があり、それぞれ ¥ 25, ¥ 25, ¥ 30 ¥ 35 である。

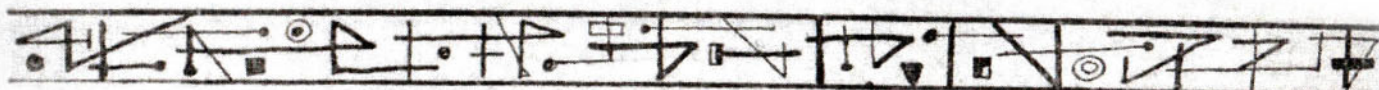


(東京都台東区御徒町 2\* の 23)

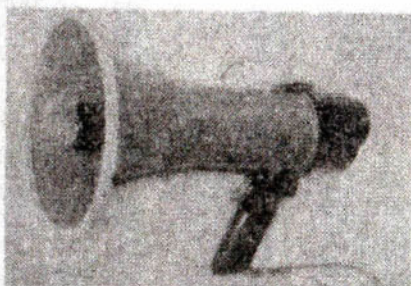
八光電機製作所 K. K.

#### トーアの電気メガホン "EM-405"

本製品はトランジスター、真空管などの増幅装置を使用しない高感度電気メガホンで、電源



は特単一または単一4個の6V、電池ともで1.72kgという軽量なものである。口径は220mm、長さ330mmである。消費電流は最大350mA、最小100mA、通達距離は約300mで8時間以上連続使用できる。正価は¥7,700(電燈別)。



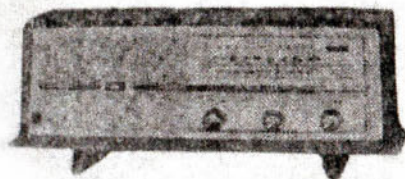
(神戸市兵庫区下沢通5の4)

東亜特殊電機 K. K.

### ナショナルの新製品6種

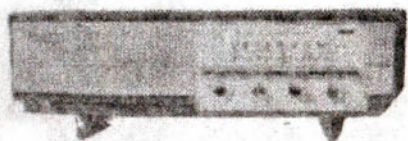
#### ●5球2バンド・ルーム・ラジオ "DX-490"

12BE6-12BA6-12AV6-90A5-95W4の5球スーパーで、電気的出力は無歪1.2W、最大1.5Wで、消費電力は23VAである。スピーカーは10cmパーマメント。外形寸法は幅354×高さ150×奥行134(mm)で、重量は1.52kg。正価は¥5,950。



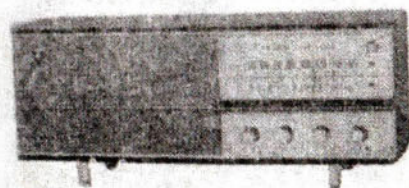
#### ●2スピーカー2バンド "DX-375"

真空管のラインアップは前記DX-490と同じであるが、スピーカーは10cm型が2個ついている。電気的出力は無歪1.2W、最大1.5W、消費電力23VAである。外形寸法は幅492×高さ169.5×奥行150(mm)で、重量は3kgである。正価は¥8,400。



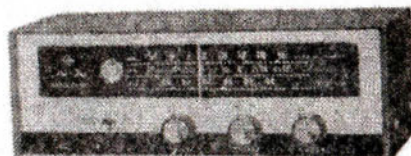
#### ●マジックアイつき2バンド "DM-650"

使用真空管は12BE6-12BA6-12AV6-30A5-19A3にマジックアイ12Z69がついている。電気的出力は無歪1.6W、最大2W。消費電力は30VAとなっている。スピーカーは16cm型を2個使って高質の向上をはかっている。外形寸法は幅600×高さ272×奥行216(mm)で重量は5.2kg。正価は¥12,900。



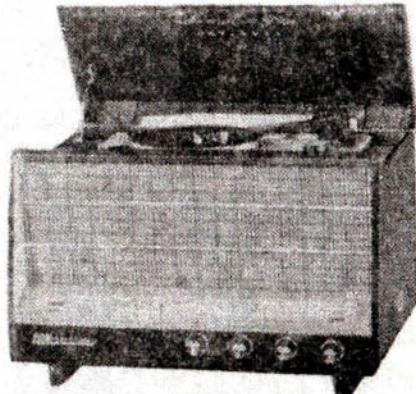
#### ●AM-FM オールバンド Hi-Fi チューナー "TA-90"

ステレオ放送受信用のサイドチューナーとして設計されたもので、AMの中波と短波、FM放送の受信をするチューナーである。MW 535~1605kc、SW 3.9~12Mc、FM 80~90 Mcの3バンドである。使用真空管は6AQ5、6BA6、6AJ8、6DC8、6AL5、6AL5、6X4、6ZE1である。消費電力は45VA、外形寸法は幅350×高さ136×奥行207(mm)、重量は4.4kgである。正価は¥14,900。



#### ●2バンド・ステレオ・ラジオグラフ "DG-835"

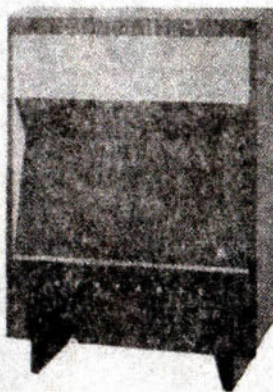
大型キャビネットと2スピーカー・システムを使った音質本位のラジオ付フォノグラフである。受信周波数は535~1605kc、3.7~12Mc、使用真空管12BE6、12BA6、12AV6、30A5、95W4の5本で、電気的出力は無歪1.3W、最大1.8W、消費電力は34VA(ラジオの場合は22VA)である。スピーカーは16cm型が2個入っている。



る。プレーヤーには4スピード・モーターとターンスーパー型のステレオ用クリスタルPUがついている。イヤホン2個を使うと本機1台でもステレオ・レコードをきくことができる。外形寸法は幅460×高さ330×奥行390(mm)で、重量は9.2kgである。正価は¥24,900。

#### ●3 ウェイの SP システム "SPS-123"

低音用に12P-LIS、中音用に30cm型のEP-60MAを2個、高音用に6.5cmコーン型トイーターHT-37Sと計4本の3ウェイを低音のよく出るバックロード・ホーン・システムのキャビネットにおさめたものである。再生周波数範囲は80~15,000c/s、許容入力20



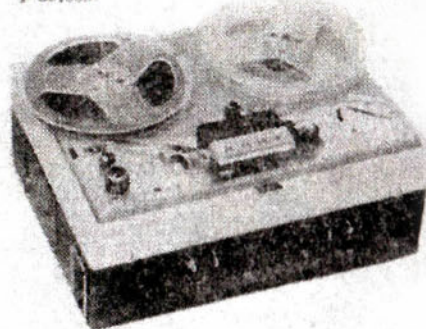
W、クロスオーバー周波数は400c/sと4000c/s、VCインピーダンスは12~16Ωである。外形寸法は幅750×高さ1095×奥行400(mm)で、重量は38.0kgである。正価は¥58,000。(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業ラジオ事業部

#### ソニーのテープレコーダー "262"

小型軽量ながら7インチ・リールをかけることができ、またテープ・タイマー装置もついていて録音位置を容易に見出すことができる。テープ速度は19cm/sと9.5cm/sの2速度である。また停止中でも録音ボタンを押すと増幅器が動作するので録音を始める前にレベル調整をすることができる。クリスタル・イヤホンによるモニターもできる。主な規格は

使用真空管は12AD7、6BM3、6X4、50A5(レベル指示のマジック・アイ)1T22G×2(ダイオード)となっていて、出力は最大2Wである。消費電力は約70VA。周波数特性は19cm/sのとき50~11000c/s、9.5cm/sのとき50~8000c/sである。半録音方式で、入力ジャックはマイク(1)とラジオ(1)である。スピーカーは10×15cmの楕円型、マイクはソニー"F-3B"のダイナミック型となっている。外形寸法は幅380×高さ190×奥行295(mm)で、重量は付属品を含み約10kgである。正価は¥39,000。

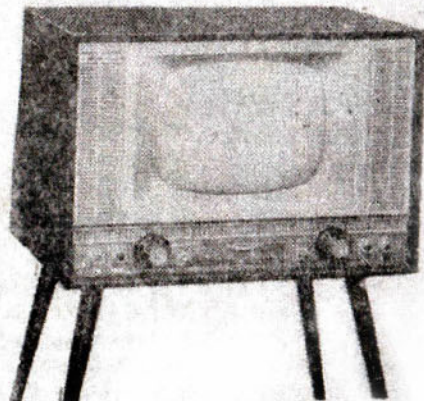


(東京都品川区北品川6351)

ソニー K. K.

#### サンヨーの14型受像機 "14-F3"

3個のスピーカーをもち、ABC(自動輝度コントラスト調整)装置がついている。スピーカーは9×35(cm)楕円型のウーファ2個が左右につき、8cm円型のトイーターが中央下に1個がある。ABC装置とは硫化カドミウム(CdS)の効果により、受像機周辺の明るさに応じて最適な輝度、コントラストを保つような





装置である。またチューナー部には HH シリーズの真空管 4R-HH2、5M-HH3 を使用して感度を上げている。

使用真空管はブラウン管を含み 17 球である。映像レスポンスは 3.5 Mc までフラット、音声出力は 2.0W (歪率 10%) で、消費電力は 140 W である。なお本機には電源の ON-OFF、ボリューム、チャンネル切換、微調整の調整のできるリモコン装置をつけることができる。他にイヤホン装置、AM・FM チューナー、レコード・プレーヤーの接続も可能である。外形寸法は幅 624×高さ 438×奥行 435 (mm) で重量は 30kg である。正価は ¥71,500。

(大阪府守口市京阪本通 2 の 13)

三洋電機 K. K.

### ハイベックスの広拡散ホーン “CW-330”

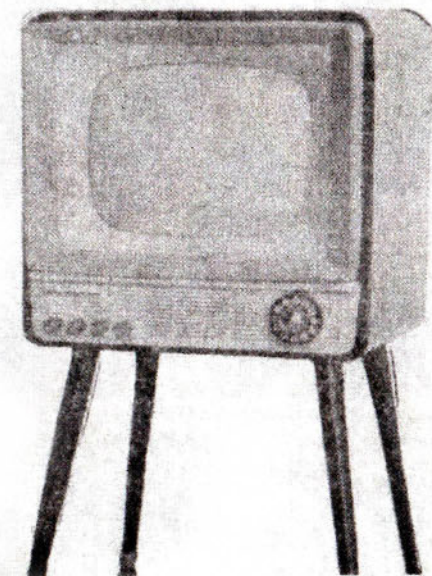
本機は広角度の拡散スピーカー用レフレックス・ホーンで、従来のレフレックス・ホーンおよびセントラル・ホーンに比し、数多くの特長をもつとともに、セルツホーンとレフレックス・ホーンの特性を兼ね備えた高忠実度のワイド・アングル・ホーンである。ホーンの口径は 220×230 (mm) が 2 つ。カットオフ周波数は 300 c/s、重量は 4.3kg である。材質はアルミ・キャストイング、スモーク・グレーの結晶塗となっている。正価は ¥6,300



(大阪府東区平野町 4 の 40)

ハイベックス音響 K. K.

### ユニバースのテレビ “14T-80A”



14 インチの 90 度偏向メタルバックのブラウン管 14RP4A を使った弱電界用のセットで、ブラウン管別で 15 球+2 石のトランス式のものである。消費電力は 160VA である。外形寸法は幅 480×高さ 460×奥行 440 (mm) で、脚付の高さは 860mm となる。重量は 24kg である。

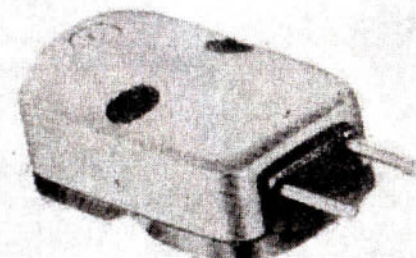
(大阪府城東区岡目町 2 の 52)

ユニバース・テレビ工業 K. K.

### SATIN のカートリッジ “MI-L”

SATIN の振本電気音響研究所の独特のスパイラル (渦巻状) ムービング・コイル型のカートリッジである。ムービングコイルには極薄極少量のアルミ・リボン線を使用し、スパイラル・コイルの厚さは僅かに 0.1mm しかない。また巻棒も全然使用せず、軽質なアルミ線とあいまって振動子の実効質量を極小とし、秀れた過渡特性と平坦な高域特性を得ている。シリコン・ゴムとシリコン・グリースによる制動も歪を減少し周波数特性の改善に役立っている。またムービング・コイル型ではあるが、針先のみ交換もできる。また強力な電気回路とコイルの導体線の大きな実効長とによって、わずか 25 Ω のインピーダンスでありながら、普通のバリレフより大きい出力電圧を得ている。使用方法は一般に、グリッドに直接接続し 1kΩ 以上の抵抗を負荷として使用するようになっている。

主な規格を列記すると、針先半径は LP 0.3 ミル、SP 3 ミル、直流抵抗約 25Ω、インダクタンス約 30μH、負荷インピーダンス 100Ω 以上、周波数範囲は 20~20,000c/s (±2dB) 針圧 4~6gr、出力電圧 -42dB (±2dB) である。大きさは 19.4×31.7 (mm) で厚さ 12.5 mm である。正価は緑ベース (サファイヤ針) MI-LSC が ¥3,800、茶ベース (ダイヤモンド針) が ¥6,500 である。



(京都市北区小山下総町 47)

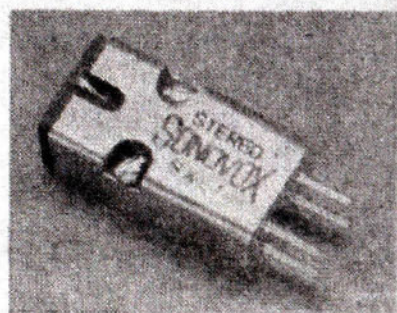
塚本電気音響研究所

### ソノボックス SX-1

ビックアップ・カートリッジの専門メーカーである長崎研究所では、ステレオ・レコード用のムービング・マグネット型カートリッジ SX-1 を完成、近く発売する予定である。SX-1 の主な規格は、周波数範囲: 20~15,000 サイクル、出力: -38dB (10mV) 50 mm/s、負荷抵抗: 50 kΩ (各チャンネル)、チャンネル・アイソレーション: 27 dB/1,000 c/s、チャンネル・バランス: ±0.5 dB、針先: 0.6 ミル・ダイヤ、針圧: 3~4 gr、コンプライアンス: 5×10<sup>-8</sup> cm/dyne、直流抵抗: 2,000Ω (各チャンネル)、自重: 13gr. となっている。

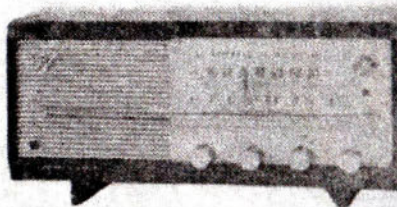
(東京都渋谷区常盤松 101)

長崎研究所



### ナショナルの 2 バンド・ ラジオ “DM-510”

マジックアイつき、木製キャビネットを使ったホーム・ラジオである。スピーカーは 12cm 型で、電気的出力は無歪 1.6W、最大 2W、消費電力は 25VA である。外形寸法は幅 416×高さ 221×奥行 162 (mm) で、重量は 3.4kg である。正価は ¥9,800。



松下電器産業・ラジオ事業部

### コンテストの賞品紹介

#### デリカのグリッド・ ディップ・ メーター

この小さな測定器 1 台であらゆる測定ができ、アマにもプロにも活用されているものである。同調回路の周波数の測定以外に、標準の C または L の使用によりインダクタンスやキャパシタンスも測れ、さらにプラグイン・コイルの代りに水晶片をとりつければ水晶発振器にもなる。その他ヘテロダイン波長計、吸収型周波計、コイルの分布容量測定にも便利に使える。本賞品は完成品で 200Mc ~ 400kc の間が 0.1% の精度で測れる。

なお、同社の御厚意により、賞品には特に受賞者のコース・サインが刻まれて贈られることは例年通りである。

(東京都港区麻布竹谷町 6)

三田無線研究所 K. K.